

アウクスブルク市紹介

アウクスブルク市はドイツ連邦共和国バイエルン州にあり、ロマンチック街道沿いにある人口約 27 万人の商工業都市です。

市の起源は、紀元前 15 年に初代ローマ皇帝アウグストゥスがこの地に軍事拠点を建設したことに始まります。13 世紀には自由都市となり、その後フッガー家やウェルザー家などの富豪を輩出し、市は繁栄を極めました。

また 1555 年にアウクスブルク帝国議会でアウクスブルクの宗教和議が成立し、世界史にその名が刻まれました。

画家ハンス・ホルバインや音楽家レオポルト・モーツァルトの出生地として、また詩人ベルトルト・ブレヒトが青春時代を過ごした町としても有名です。

市内には、ドイツ最古のステンドグラスを持つ大聖堂や聖ウルリヒ教会、市庁舎、世界最古の社会福祉施設フッゲライなど中世以来の建築物が多く残っています。

現在は、機械産業、特に航空機やロボット、そして環境技術産業などを有するドイツ有数の都市であり、1985 年には都市創立 2000 年記念祭が盛大に行われました。

平和のための尼崎アピール

昔から人間社会又は国家の間に武力紛争や戦争の絶えたことはありません。戦争は、人間の愛の絆を断ち切るものであり、社会の発展を妨げるものです。それだけではなく、核兵器をはじめとする武器の開発は、人間とともに地球上のあらゆる生命を滅ぼす恐れがあります。

私たち、尼崎市、アウクスブルク市、鞍山市の青年たちは、尼崎市市制 70 周年と国際平和年を契機に、平和について話し合うために、尼崎市に集まりました。

私たちには、戦争の体験はありませんが、両親や祖父母の体験を聞き、広島を見学して、戦争の恐ろしさとその結果の悲惨さを痛感しています。

そこで、私たちは、世界平和のために責任を持たねばならない世代であるとの自覚のもとに、次のことを強く訴えます。

- 実際の武器だけではなく、まず心の中の武器をなくして、友好を深めよう。
- みんなが持っている平和を愛する気持ちを確かめるため、広く外国の人と話し合おう。
- 両親、祖父母の戦争体験を次の世代にも伝え、平和のための話し合いを家庭から始めよう。
- 平和についての教育を子どものときから行おう。
- 青少年の国際交流を活発にし、視野を広げるとともに相互理解を深めよう。
- 姉妹都市・友好都市のつながりを世界に網の目のように広げよう。

1986 年 11 月 24 日

尼崎市青年代表
アウクスブルク市青年使節団
鞍山市青年使節団